

# 階層別屋内地理空間情報データ仕様書(案)

平成 29 年 3 月改訂版(暫定)

国土地理院

## 目次

1.はじめに.....	1
1.1. 「階層別屋内地理空間情報データ仕様書(案)」について.....	1
1.2. 「仕様書(案)」作成にあたっての他委員会等との連携.....	1
2.基本方針.....	1
2.1.基本方針.....	1
2.2.使用するフォーマット.....	2
2.3.言語に依存したデータと文字コード.....	2
2.4.作成する地図データ.....	2
2.5.シェープファイル名の命名規則.....	2
2.6.データID および参照コード.....	3
3.データの階層構造.....	3
3.1.データの階層構造.....	3
3.2.データ管理者.....	3
3.3.施設.....	3
3.4.建物躯体.....	4
3.5.階層.....	4
4.階層.....	4
4.1.階層の定義.....	4
4.2.階層名と階層序数.....	4
5.座標系.....	5
6.データファイル.....	5
6.1.ディレクトリ構成.....	5
6.2.メタデータ.....	6
7.作成する地図データ.....	6
7.1.地物データ.....	6
7.2.ネットワークデータ.....	7
7.3.POI データ.....	7
7.4.アンカーポイントデータ.....	7
7.5.各データ間の相互関係.....	7
8.データ仕様.....	8
8.1.地物データ.....	8
8.1.1.施設.....	8
8.1.2.建物躯体.....	9
8.1.3.階層.....	10

8.1.4.物理的な空間.....	11
8.1.5.固定設置物.....	12
8.1.6.任意設定空間.....	13
8.1.7.出入口.....	13
8.1.8.描画用地物.....	14
8.1.9.視覚障害者誘導用ブロック点状ブロック.....	15
8.1.10.視覚障害者誘導用ブロック線状ブロック.....	16
8.2.ネットワークデータ.....	17
8.2.1.ネットワークノード.....	17
8.2.2.ネットワークリンク.....	19
8.3.POIデータ.....	20
8.3.1.設備 POI.....	20
8.3.2.占有者 POI.....	20
8.4.アンカーポイントデータ.....	22
8.4.1.建物間接続点.....	22
8.4.2.階層間接続点.....	23
9. その他のデータ.....	25
9.1. メタデータファイル.....	25
9.2. 施設管理ファイル.....	25
9.3. フロア管理ファイル.....	26
9.4. 位置参照点.....	26
9.5. 言語依存データ.....	27
<b>【別表】地物データ、POI データのカテゴリー一覧.....</b>	<b>28</b>
別表 8.1.1.施設のカテゴリー.....	28
別表 8.1.4.物理的な空間のカテゴリー.....	28
別表 8.1.5.固定設置物のカテゴリー.....	30
別表 8.3.1.設備 POI のカテゴリー.....	31
別表 8.3.2.占有者 POI のカテゴリー.....	34

## 1. はじめに

### 1.1. 「階層別屋内地理空間情報データ仕様書（案）」について

「階層別屋内地理空間情報データ仕様書（案）」（以下、「本仕様書（案）」と言う。）は、国土交通省総合技術開発プロジェクト「3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発」（以下、「3次元総プロ」と言う。）の研究成果の一部である。本仕様書（案）は、地下街等の公共的屋内空間を主対象とし（ただし、対象となる施設の敷地内の屋外空間も含む）、階層別の地理空間情報データに関わる一般的な地図データの仕様について規定するものである。なお、3次元総プロは、平成27年度から平成29年度までの3ヵ年で実施中のものであることから、本仕様書（案）はその途中成果を反映したものであり、平成29年度の研究成果を反映して取りまとめる予定の最終的な仕様書（案）とは内容が異なる点に注意されたい。

### 1.2. 本仕様書（案）作成にあたっての他委員会等との連携

本仕様書（案）は、3次元総プロのほか、以下の委員会等における検討内容を踏まえて作成されたものである。

- ① 「ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」（国土交通省政策統括官付）
- ② 「平成27年度高精度測位社会の実現に向けた屋内外シームレスな電子地図に関する検討業務」（国土交通省国土政策局）及び「平成27年度屋内外の測位環境を活用した多様なサービス創出の環境づくりに関する検討業務」（国土交通省国土政策局）（以下、「高精度測位社会プロジェクト」と言う。）
- ③ 「位置情報基盤ワーキンググループ」（国土地理院）
- ④ 「平成28年 歩行者移動支援サービスの展開に向けた環境整備」（国土交通省総合政策局）
- ⑤ 「平成28年度屋内外の電子地図等を活用した屋内外シームレスなサービス実証の実施に関する業務」（国土交通省国土政策局）
- ⑥ 「平成28年度屋内外の電子地図等を活用した多様な位置情報サービス創出に向けた環境作りに関する検討業務」（国土交通省国土政策局）

## 2. 基本方針

### 2.1. 基本方針

本仕様書（案）で規定する主要な地図データは、3次元モデルデータ（CIM、BIM、3次元CADデータ）、2次元の図面（平面図、設備管理図、CIM、BIMから出力された平面図を含む）、あるいは公開されているフロアマップ等を原典資料として、点、線、面といった2次元で表現が可能であり、GIS上で作成、維持更新が可能なデータを基本とする。そのため、データ形式は、GISではデファクトスタンダードである、シェープファイルを基本とする。

本仕様書（案）で規定される階層別屋内地理空間情報データの直接的な利用者は、本仕様書（案）で規定されるデータを利用したサービスを提供する者（地図調製業者を含む）や、国土交通省国土政策局が推進する「高精度測位社会プロジェクト」で設立の検討が進められている、公共的な屋内空間の地図データの作成や屋内測位環境の整備等を担う推進体制を想定している。そのため、本仕様書（案）で規定されるデータは、それらの利用者が地図を利用・作成する際に必要となる基盤的な情報とする。

## 2.2. 使用するフォーマット

先述の通り、使用する地図データのフォーマットは、シェープファイルを基本とし、作成される地図データは、シェープファイルの規則に従うものとし、以下の4つから構成する。

- ①メイン・ファイル（拡張子：.shp）
- ②インデックス・ファイル（拡張子：.shx）
- ③属性ファイル（dBASE ファイル）（拡張子：.dbf）
- ④プロジェクトファイル（拡張子：.prj）

シェープファイル以外のデータについては、XML ファイル、CSV ファイルにて作成するものとする。

## 2.3. 言語に依存したデータと文字コード

「本仕様書（案）」で扱うデータのうち、言語により表現が異なるデータを、言語依存データとよぶ。言語依存データは、シェープファイルの属性データ上では日本語により表記する。日本語以外の言語については、別途 CSV ファイルで管理する。CSV ファイルは使用する文字コードは、utf-8（BOM なし）とする。

## 2.4. 作成する地図データ

「本仕様書（案）」で規定する地図データは、以下の4種である。

- ①地物データ：屋内空間に係る建物の形状、部屋、設置物などを表現するデータ。
- ②ネットワークデータ：歩行者ナビゲーション等に利用するためのネットワークデータ。経路を示す「リンク」及びリンクの結節点である「ノード」から構成されるデータ。
- ③POI データ：取得する地物などを代表する点やある場所の位置を特定するためのデータで、点の形で整備されるデータ。POI データは、ナビゲーション等の目的地などに利用される。なお、POI とは、“Point of Interest” の略である。
- ④アンカーポイントデータ：異なる施設管理者が作成した地図データを接合する際や、上下階層間を接続するための情報を格納したデータ。建物の出入口や階段、エスカレータ、エレベータ等のノードをアンカーポイントに紐づけて管理するデータ。

## 2.5. シェープファイル名の命名規則

シェープファイルのファイル名は、「施設名\_階層名\_データ名称」とする。「施設名」は、任意に設定可能であるが、可能な限り分かりやすい表現とし、アルファベットで記述する。「階層名」は、施設管理者の定義に従う。地上1階以上は1、2、3、…と数字のみで表記し、地下1階以下は、B1、B2、B3…と数字の前にBを付けて表記する。地表面の階層については、0と表記する。また、中2階などの中層階は、M2と数字の前にMをつけて表記する。

例1) 丸ビルの1階の物理的な空間データの場合

MARUBIRU\_1\_Space.shp

例2) 丸ノ内線大手町駅の地下1階の固定設置物データの場合

MaruOtemati\_B1\_Fixtures.shp

※施設名のアルファベットの大文字、小文字は任意とする。

## 2.6. データ ID および参照コード

本仕様書（案）で規定する地図データは、1つ1つの図形を識別するためのデータ ID を属性データに保有する。データ ID は、UUID を用いる。UUID は、Universally Unique Identifier の略称で、ソフトウェア上でオブジェクトを一意的に識別するための識別子である。UUID は 128 ビットの数値だが、十六進法による 32 桁の文字列により表現する。データ ID により、1つ1つの図形は1つのファイル内で固有の ID を持つ。

また、参照コードとして論理場所情報コードを用いる。論理場所情報コードは、国土地理院が推進するパブリックタグ構想の中に位置づけられ、情報通信分野で使われる ucode に準拠したコードで、ある空間や、ある場所に固定されたモノを識別し必要な情報を結び付けられるようにするために、緯度、経度、高さ（階層数値）で表現されるコードである。各図形の重心の緯度、経度、高さ（階層数値）から決定される 32 桁の文字列とする。

## 3. データの階層構造

### 3.1. データの階層構造

「本仕様書（案）」に基づく地物データ、POI データは、本仕様で定める意味での「階層」ごとに管理する（以下、「」を用いず単に階層と表記する）。階層を定義するためのデータの論理的な階層構造は、「データ管理者－施設－建物－階層」とする。



### 3.2. データ管理者

データ管理者は、そのデータの作成、維持などのプロジェクトに関して責任を持つものである。例えば、データの作成・維持を行うのが国土地理院の場合には、国土地理院とする。

### 3.3. 施設

施設は、データ管理者が一体として整備するデータの範囲である。つまり、複数の建物をまとめる単位が施設である。例えば、国土地理院本院の場合、この中には、国土地理院本館、情報サービス館、地図と測量の科学館など複数の建物が含まれる。なお、1つの施設が1つの建物から構成されることもある。

### 3.4. 建物駆体

建物駆体は、ビル、地下道、駅等、施設管理者が施設管理をする際に一体とみなす建物等の範囲である。例えば、プロジェクト国土地理院本院の中には、国土地理院本館、情報サービス館、地図と測量の科学館などが含まれる。

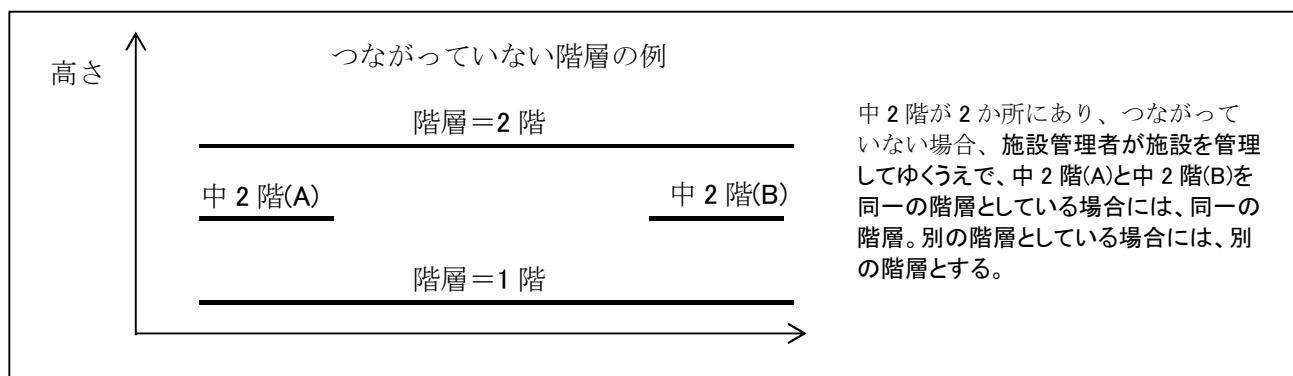
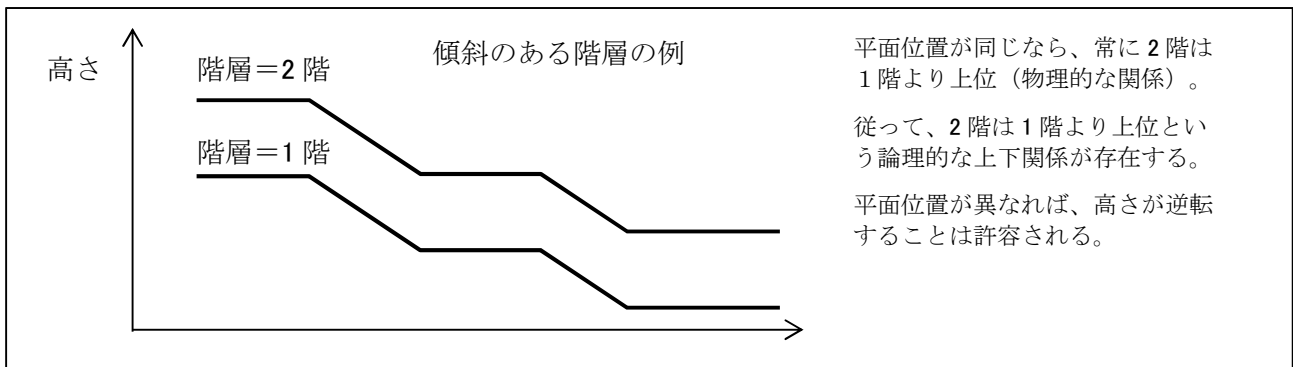
### 3.5. 階層

階層は、施設管理者が施設管理を行う上で、定義している1つの階層の範囲とする。階層は、施設管理者により任意の数の階層に分割することが出来る。なお、異なる施設管理者の施設が隣接し、一体の空間となっていて、施設管理者が異なる階層を定義している場合、施設利用者の目には1つの階層と見える空間であっても、異なる階層となることがある。

## 4. 階層

### 4.1. 階層の定義

「本仕様 (案)」でいう階層は、地下2階、地下1階、地表面、1階、2階・・・等の施設の階層を指す。これは、施設管理者が設定するものである（シェープファイルの属性項目としては「階層名」としてデータが記述される）。同一の施設内の異なる階層の間には、一意な論理的上下関係が存在し、平面位置を特定した場合は、同一の施設内の上位の階層は、下位の階層より上方に存在するという物理的な関係が存在する。



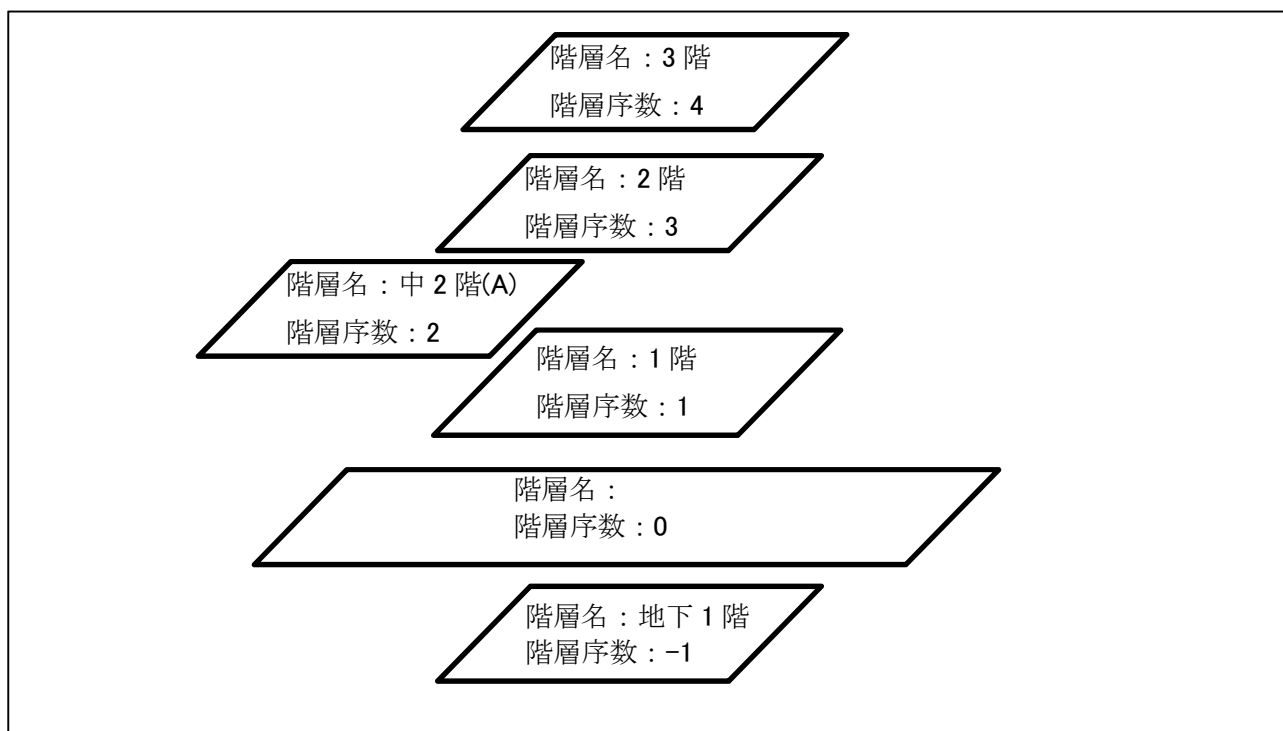
### 4.2. 階層名と階層序数 ※本節は、検討中の内容を含む。

階層の情報は、「階層名」と「階層序数」という形で、シェープファイルの属性値として記述される。「階層名」は、施設管理者が定義した階層の呼び名である。「階層序数」は、「階層名」と異なり、作成した地図データを体系的に利用することを容易にするために設定した。ナビゲーションアプリケーション

ション等システムの利用を考慮して必要な情報であり、「…-3、-2、-1、0、1、2、3…」というように整数の序数で示す。

階層序数は、同一建物内の階層の上下関係を示す数値である。1階は「1」、2階は「2」、地下1階は「-1」、1階とは別に地上階を設ける場合には「0」とする。なお、中層階、例えば、中2階がある場合、階層名は施設管理者の定義に従い「中2階」などの名称をつけることが可能であるが、階層序数は「2」となる。従って、中2階の上階である「2階」の階層序数は「3」、その上階の「3階」の階層序数は「4」となる（下図参照）。

ただし、階層序数は、論理場所情報コードの階層とは異なる。論理場所情報コードは、中層階を全て「0.5」と表現するため、論理場所情報コード上では、中2階は「1.5」として扱われるので注意を要する。



## 5. 座標系

「本仕様書（案）」で扱うデータの座標系は、世界測地系緯度経度とする。

JGD2011 / (B, L):世界測地系 / 緯度経度

## 6. データファイル

### 6.1. ディレクトリ構成

「本仕様書（案）」で規定するデータを媒体に格納する場合、1つのディレクトリ内に配置する。ここでは、このディレクトリを「/」と仮定して説明する。なお、このディレクトリは、必ずしも媒体のルートディレクトリに配置される必要はない（例えば、同一の媒体に、仕様書と成果物を格納したり、複数のプロジェクトデータを格納したりすることが想定される）。

プロジェクト全体に関わるファイルは、「/」に配置する。施設に関するファイルは、「/施設」に格納する。階層に関するファイルは、「/施設/階層」に配置する。地物データやPOIデータなどの各シェープフ



ファイルは、階層ごとに構成するため、「/施設/階層」に配置する。

## 6.2. メタデータ

プロジェクトの主要な情報を一括して管理するメタデータを XML 形式で作成し、プロジェクト全体に関するデータを記述する。

プロジェクトの主要な情報とは、以下の通り。

### ①データ要約

格納されたデータの内容について簡潔に記述する。

### ②データ管理者

データ管理者名を記述する。

### ③プロジェクト

プロジェクト名、該当プロジェクトに含まれる施設等について記述する。

### ④施設

シェープファイルのファイル名となっている施設についての概要を記述する。また、該当施設に含まれる建物数や建物名を記述する。

### ⑤データ作成年月日

データ作成年月日を記述する。

### ⑥原典資料情報

格納されたデータ作成にあたって使用した原典資料についての情報を記述する。原典資料名、原典資料作成者、原典資料作成年月日、原典資料データ形式（電子データの場合、データフォーマットについても記述する。原典資料が紙媒体の場合には、その旨記述する）、原典資料精度（縮尺等図面の精度が分かる情報）などを記述する。複数の原典資料を用いる場合、全ての原典資料を記述する。

### ⑦加工編集方法

格納されたデータの加工編集方法を記述する。

### ⑧現地調査

現地調査の有無を記述する。原典資料と現地調査の結果、現地調査の情報をデータに反映した場合には、その内容について記述する。

## 7. 作成する地図データ

先述の通り、「本仕様書（案）」で規定する、シェープファイルは、①地物データ、②ネットワークデータ、③POI データ、④アンカーポイントデータの 4 種類である。各データを一覧表にまとめた。なお、表には、拡張子「.shp」のみを掲載し、拡張子「.dbf」「.shx」「.prj」については省略した。また、ファイル名の「施設名\_階層名\_データ名称」のうち、「施設名\_階層名\_」は省略した。

### 7.1. 地物データ

地物データは、地物図形データと描画用図形データとに大別される。

No.	大分類	小分類	データ名称	ファイル名	シェープタイプ
1	地物用図形データ	施設	施設	Site.shp	“Polygon”又は“MultiPolygon”

2	地物用図形データ	建物躯体	建物躯体	Buildings.shp	“Polygon”又は“MultiPolygon”
3	地物用図形データ	階層	階層	Floors.shp	“Polygon”又は“MultiPolygon”
4	地物用図形データ	物理的な空間	物理的な空間	Spaces.shp	“Polygon”又は“MultiPolygon”
5	地物用図形データ	固定設置物	固定設置物	Fixtures.shp	“Polygon”又は“MultiPolygon”
6	地物用図形データ	任意設定空間	任意設定空間	Segments.shp	“Polygon”又は“MultiPolygon”
7	地物用図形データ	出入口	出入口	Openings.shp	“LineString”
8	描画用地物データ	描画用地物	描画用地物	Drawings.shp	“Polyline”又は“Multipolyline”
9	地物用図形データ	視覚障害者誘導 ブロック 点状ブ ロック	視覚障害者誘導 ブロック 点状ブ ロック	Blister_Tactile.sh p	Point(点)
10	地物用図形データ	視覚障害者誘導 ブロック 線状ブ ロック	視覚障害者誘導 ブロック 線状ブ ロック	Guidance_Tactile. shp	Polyline(線)

## 7.2. ネットワークデータ

ネットワークデータは、経路の起終点、交差点等を示す点形式のノードと、経路の線を示す線形式のリンクとに大別される。

No.	データ名称	ファイル名	シェープタイプ	備考
1	ネットワークノード	node.shp	Point(点)	
2	ネットワークリンク	link.shp	Polyline(線)	

## 7.3. POI データ

POI データは、設備 POI と占有者 POI とに大別される。

No.	データ名称	ファイル名	シェープタイプ	備考
1	設備 POI	Facility.shp	Point(点)	
2	占有者 POI	Occupants.shp	Point(点)	

## 7.4. アンカーポイントデータ

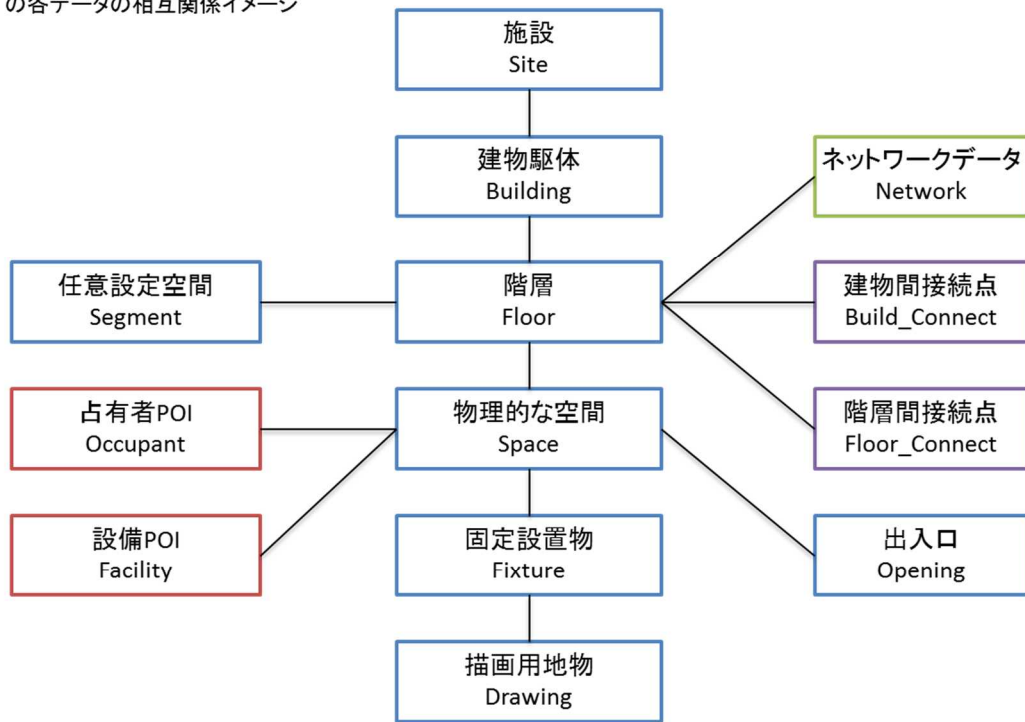
アンカーポイントデータは、空間どうしの接続関係を示す点形式のデータで、建物間の接続関係を示す建物間接続点と、階層間の接続関係を示す階層間接続点とに大別される。

No.	データ名称	ファイル名	シェープタイプ	備考
1	建物間接続点	Build_Connect.shp	Point(点)	
2	階層間接続点	Floor_Connect.shp	Point(点)	

## 7.5. 各データ間の相互関係

地物データ、ネットワークデータ、POI データ、アンカーポイントデータの相互関係（階層構造）を、次に示す。

階層別屋内地理空間情報データ仕様書(案)  
の各データの相互関係イメージ



凡例			
<span style="border: 1px solid blue; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	地物データ	<span style="border: 1px solid green; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	ネットワークデータ
<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	POIデータ	<span style="border: 1px solid purple; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	アンカーポイントデータ

## 8. データ仕様

### 8. 1. 地物データ

#### 8. 1. 1. 施設

項目分類	
大分類	地物用図形データ
小分類	施設
データ名称	施設
ファイル名	Site.shp
シェープタイプ	“Polygon”又は“MultiPolygon”
定義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の概要を示す。</li> <li>・施設管理者が管理する施設の範囲、施設敷地領域を面データとして取得する。</li> </ul>
取得基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“施設”は別の“施設”を包含しない。</li> <li>・“施設”の境界線は、その施設内に含まれる他の地物データと交差あるいは重複しない。</li> <li>・“施設”は interior ring (ドーナツポリゴン)を持たない。</li> <li>・“施設”の境界線は他の“施設”境界線を共有できない。</li> <li>・他の地物はすべて、“施設”に内包される。</li> </ul>
主な原典資料	設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、フロアマップ

補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	施設の固有 ID	UUID	
	postalcode	text	郵便番号	151-0053	
	country	text	国	日本	
	province	text	都道府県	東京都	
	city	text	市区町村	渋谷区	
	address1	text	住所 1	00-00-00	
	address2	text	住所 2	新宿〇〇タワー〇F	
	address3	text	住所 3		
	address4	text	住所 4		
	category	text	施設のカテゴリ	別表 8.1.1.施設のカテゴリ参照	
	hours	text	施設の営業時間	07:00-22:00	
	name	text	施設の名称		
	phone	text	施設の電話番号		
	website	text	施設のウェブサイトアドレス(URL)		
参照情報	ucode	text	論理場所情報コード		

### 8.1.2. 建物躯体

項目分類					
大分類	地物用図形データ				
小分類	建物躯体				
データ名称	建物躯体				
ファイル名	Buildings.shp				
シェープタイプ	“Polygon” 又は “MultiPolygon”				
定義	“施設”に含まれる建物の範囲を示す。				
取得基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の外壁、柱の中心線で囲まれた範囲を面データとして取得する。</li> <li>・1つの“施設”内に複数の“建物躯体”が存在する可能性はある。</li> <li>・1つの“建物躯体”は別の“建物躯体”に内包されない。</li> </ul>				
主な原典資料	設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、フロアマップ				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	建物躯体の固有 ID	UUID	

	postalcode	text	郵便番号	151-0053	
	country	text	国	日本	
	province	text	都道府県	東京都	
	city	text	市区町村	渋谷区	
	address1	text	住所 1	00-00-00	
	address2	text	住所 2		
	address3	text	住所 3		
	address4	text	住所 4		
	name	text	建物躯体の名称	新宿〇〇タワー	
参照情報	ucode	text	論理場所情報コード		

### 8.1.3. 階層

項目分類					
大分類	地物用図形データ				
小分類	階層				
データ名称	階層				
ファイル名	Floors.shp				
シェープタイプ	“Polygon” 又は “MultiPolygon”				
定義	建物内の各階の範囲を示す。また、“施設”の範囲内で、“建物躯体”外の範囲(屋外の地表面)も1つの階として扱う。				
取得基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物内の各階の範囲を面データで取得する。</li> <li>・“建物躯体”の中には1つ以上の“階層”が含まれる。</li> <li>・“施設”の範囲内で、“建物躯体”外の範囲は、屋外空間であり、階層序数が“0”の“階層”データとして取得する。</li> </ul>				
主な原典資料	設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、フロアマップ				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	“階層”の固有 ID	UUID	
	category	text	屋内外区分	1:indoor 2:outdoor	
	name	text	階層名	1階、地下1階、中2階…	施設管理者の設定する階層の名称
	ordinal	text	階層序数	-2、-1、0、1、2、3…	
	short_name	text	フロアの通称		施設管理者の設定する階層の名称の略称

参照情報	ucode	text	論理場所情報コード		
------	-------	------	-----------	--	--

#### 8.1.4. 物理的な空間

項目分類					
大分類	地物用図形データ				
小分類	物理的な空間				
データ名称	物理的な空間				
ファイル名	Spaces.shp				
ファイルタイプ	“Polygon” 又は “MultiPolygon”				
定義	建物内に存在する部屋、階段、エスカレータ、スロープなどの範囲を示す。原典資料に掲載されていて面データとして取得するもの。				
取得基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原典資料に従い、利用目的ごとに区切られた部屋の範囲の形状を、面データとして取得する。</li> <li>・1つの“物理的な空間”には、少なくとも1つの“出入口”が存在する。</li> <li>・部屋に含まれない通路、廊下、コンコースも1つの“物理的な空間”として取得する。</li> <li>・“階層”の外に“物理的な空間”があってはならない。</li> </ul>				
主な原典資料	設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、フロアマップ				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	UUID		
	postalcode	text	郵便番号	151-0053	
	country	text	国	日本	
	province	text	都道府県	東京都	
	city	text	市区町村	渋谷区	
	address1	text	住所 1	00-00-00	
	address2	text	住所 2	新宿〇〇タワー0F	
	address3	text	住所 3		
	address4	text	住所 4		
	category	text	該当する“物理的な空間”カテゴリーのコード	別表 8.1.4.物理的な空間カテゴリー参照	
	floor_name	text	“物理的な空間”が紐づけられている“階層”の“階層名”	〇階	
	name	text	“物理的な空間”につけられた名称(店舗名など)	JR 東日本みどりの窓口	

	restricted	text	業務用エリアなど一般の人の進入制限の有無を示す	1: 進入制限あり 2: 進入制限なし	
	suite	text	地図表示用の注記ラベル	みどりの窓口	
	nonpublic	text	地図情報としての公開可否を示す	1: 公開不可 2: 公開可	
	toll	text	有料施設	1: 不明 2: 有料 3: 無料	
参照情報	ucode	text	論理場所情報コード		

### 8.1.5. 固定設置物

項目分類					
大分類	地物用図形データ				
小分類	固定設置物				
データ名称	固定設置物				
ファイル名	Fixtures.shp				
シェープタイプ	“Polygon” 又は “MultiPolygon”				
定義	柱、家具、自動販売機、障害物、植物(植栽)、壁、水面など移動の障害となる固定された設置物の範囲を示す。なお、固定された設置物とは、必ずしも物理的に床、壁、天井等に固定されている必要はないが、日々移動してしまうような設置物(看板、机、椅子…)は除く。				
取得基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原典資料に従い、“固定設置物”の範囲を面データとして取得する。</li> <li>・“固定設置物”は同一“階層”内で他の“固定設置物”の境界線と重なってはならない。</li> </ul>				
主な原典資料	設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、フロアマップ				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	“固定設置物”の固有 ID	UUID	
	category	text	該当する“固定設置物”カテゴリーのコード	別表 8.1.5.固定設置物のカテゴリー参照	
	floor_name	text	“固定設置物”が紐づけられている“階層”の“階層名”		
	indoor	text	屋内外区分	1: indoor 2: outdoor	

	source	text	原典	1:設備・施設管理図 (CAD、BIM データ等) 2:フロアマップ	
参照情報	ucode	text	論理場所情報コード		

#### 8.1.6. 任意設定空間

項目分類					
大分類	地物用図形データ				
小分類	任意設定空間				
データ名称	任意設定空間				
ファイル名	Segments.shp				
シェープタイプ	“Polygon” 又は “MultiPolygon”				
定義	<p>施設管理者により任意に設定された領域の範囲を示す。</p> <p>例) JR 東京駅付近の場合、GRANSTA、黒塚横丁、Kitchen Street、北町ダイニング、GRANROOF、GRANROOF FRONT、GranaAge、KITTE GRANCHE、味の散歩道、八重洲地下街、東京駅一番街など施設管理者により任意に設定された空間の範囲</p> <p>参照 <a href="http://www.tokyoinfo.com/shop/mall/">http://www.tokyoinfo.com/shop/mall/</a></p>				
取得基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 つ以上の“物理的空間”を含む</li> <li>・施設管理者の設定に従う</li> </ul>				
主な原典資料	設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、フロアマップ				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	“任意設定空間”の固有 ID	UUID	
	floor_name	text	“任意設定空間”が紐付けられている“階層”の“階層名”		
	name	text	名称	GRANSTA、黒塚横丁、八重洲地下街、東京駅一番街・	
	source	text	原典	1:設備・施設管理図 (CAD、BIM データ等) 2:フロアマップ	
参照情報	ucode	text	論理場所情報コード		

#### 8.1.7. 出入口

項目分類	
大分類	地物用図形データ



小分類	出入口				
データ名称	出入口				
ファイル名	Openings.shp				
シェープタイプ	“LineString”				
定義	部屋の出入口、スロープ、エスカレータ、エレベータ、階段の乗降口、駅の改札などの出入口を線データで取得したもの。				
取得基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋の出入口、スロープ、エスカレータ、エレベータ、階段の乗降口、駅の改札などの出入口を線データで取得する。</li> <li>・“出入口”は“物理的な空間”の境界線の一部と重複している。</li> <li>・“物理的な空間”には、少なくとも1つの“出入口”が存在する。</li> </ul>				
主な原典資料	設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、フロアマップ				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	“出入口”の固有 ID	UUID	
	floor_name	text	“出入口”が紐付けられている“階層”の“階層名”		
	name	text	名称	出入口の名称(八重洲地下中央口、北側出入口…)	
	source	text	原典	1:設備・施設管理図(CAD,BIM データ等) 2:フロアマップ	
参照情報	ucode	text	論理場所情報コード		

#### 8.1.8. 描画用地物

項目分類	
大分類	描画用地物データ
小分類	描画用地物
データ名称	描画用地物
ファイル名	Drawings.shp
シェープタイプ	“LineString” 又は “MultiLineString”
定義	<p>階段の踏み段の線、段差の線、線路、ラインで描画可能な展示物、回転ドアの形、パーテーション、バリカー、ボーディングブリッジ、スタジアムの座席などで、“物理的な空間”、“固定設置物”に含まれない地物を線として描画するもの。</p> <p>主として歩行者ナビゲーションの観点から目印となりうる地物を線で描画する。</p>
取得基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“描画用地物”の頂点および線分は“階層”“物理的な空間”の範囲内にあること。</li> <li>・“物理的な空間”のうち“restricted”で“進入制限あり”とした範囲内では“描画用地物”を取得しない。</li> </ul>

	・“描画用地物”相互の位置関係および距離に留意する。				
主な原典資料	設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、フロアマップ				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	“描画用地物”の固有 ID	UUID	
	floor_name	text	“描画用地物”が紐づけられている“階層”の“階層名”		
参照情報	ucode	text	論理場所情報コード		

### 8.1.9. 視覚障害者誘導用ブロック点状ブロック

項目分類					
大分類	地物用図形データ				
小分類	視覚障害者誘導用ブロック点状ブロック				
データ名称	視覚障害者誘導用ブロック点状ブロック				
ファイル名	Blister_Tactile.shp				
シェープタイプ	Point(点)				
定義	視覚障害者誘導用ブロックのうち点状(警告)ブロック等を点として取得するもの。				
取得基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>点状ブロックの中心点をポイント形式で取得する。なお、点状ブロックが複数敷設されて一塊となっている場合は、その塊の概ね中心を点として取得する。</li> <li>ただし、一塊の点状ブロックであっても、異なる移動方向の起終点を意味する場合には、それぞれの移動方向に対応する地点を点として取得する。</li> </ul>				
主な原典資料	設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、フロアマップ、現地調査				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	“視覚障害者誘導用ブロック点状ブロック”の固有 ID	UUID	
	floor_name	text	“視覚障害者誘導用ブロック点状ブロック”が紐付けられている“階層”の“階層名”	地下 1 階は-1 中二階は 1.5	
	category	text	設置位置	1:交差点前 2:エレベータ前 3:エスカレータ前 4: 階段前 5:スロープ出入口	

				6:その他	
	name	text	名称		
	lat	text	座標	緯度(世界測地系)	
	lon	text	座標	経度(世界測地系)	
	source	text	原典	1:設備・施設管理図 (CAD,BIM データ等) 2:フロアマップ	
参照情報	ucode	text	論理場所情報コード		

#### 8.1.10. 視覚障害者誘導用ブロック線状ブロック

項目分類					
大分類	地物用図形データ				
小分類	視覚障害者誘導ブロック線状ブロック				
データ名称	視覚障害者誘導ブロック線状ブロック				
ファイル名	Guidance_Tactile.shp				
シェープタイプ	Polyline(線)				
定義	視覚障害者誘導用ブロックのうち線状(誘導)ブロック等を線として取得するもの。				
取得基準	<p>1. 線状(誘導)ブロック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移動方向に沿って列状に敷設された線状ブロックの中心線をライン形式で取得する。なお、線状ブロックの終点に点状ブロックが接続している場合は、点状ブロックのポイントに線状ブロックの端点を接続させる。</li> <li>また、点状ブロックと一体として敷設されている線状ブロックで、移動方向に対してブロックが1枚以下(約30cm以下)の場合には、ラインが短すぎるため中心線としては取得せず、その線状ブロックを点状ブロックとして扱う。</li> </ul> <p>2. 内方線付き点状ブロック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅プラットホームにおいてホーム端と平行に列状に敷設された内方線付き点状ブロックについて、その内方線の中心線をライン形式で取得する。</li> </ul> <p>3. エスコートゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エスコートゾーンの中心線をライン形式で取得する。ただし、屋内に設置されることは想定していない。</li> </ul>				
主な原典資料	設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、フロアマップ、現地調査				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考

	id	text	“視覚障害者誘導ブロック線状ブロック”の固有ID	UUID	
	startnode	text	“視覚障害者誘導用ブロック点状ブロック”のID		接続する点状ブロックがある場合入力
	endnode	text	“視覚障害者誘導用ブロック点状ブロック”のID		接続する点状ブロックがある場合入力
	category	text	“視覚障害者誘導ブロック線状ブロック”の種類	1:線状(誘導)ブロック 2:内方線付き点状ブロック 3:エスコートゾーン	
	roof	text	屋根の有無	0:なし 1:あり 9:不明(未調査)	
	source	text	原典	1:設備・施設管理図 (CAD,BIM データ等) 2:フロアマップ	
	floor	text	階層名	地下1階は-1 中二階は1.5	
参照情報	ucode	text	論理場所情報コード		

## 8.2. ネットワークデータ

ネットワークデータの仕様は、平成29年度に実施する検討結果を踏まえて改訂する計画である。したがって、以下に記載している仕様は、平成27年度版の仕様と同一である。

### 8.2.1. ネットワークノード

項目分類	
大分類	ネットワークデータ
小分類	ノード
データ名称	ネットワークノード
ファイル名	node.shp
シェープタイプ	Point(点)
定義	リンクの結節点
取得基準	通路の交差部の中心、通路の行き止まり、エレベータ前、エレベータ籠の中央、エスカレータ前、階段前、トイレ前、スロープ出入口、フロア間接続(空間を接続する物理的な境界(駅改札口、フロア出入口のドア等))、公的施設の出入口をノードとして点として設定したもの 種別が複数該当する場合は、直近に複数のノードを設定する 名称に関しては、原典資料に記載があれば記入、ない場合は不明と記入する
主な原典資料	フロアマップ、設備・施設管理図、現地調査

補足事項等	なし				
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
オブジェクト ID	renketu	int	連結種別	0:フロア内 1:フロア間(階段・エスカレータの間、ビル出入口、等)	
	setuzoku	int	接続区分	0:フロア内接続 1:フロア間接続(アンカーポイントとなりうるノード)	
	kaisou	float	階層数値	地下 1 階は-1 中二階は 1.5	
	nodeshu	int	種別	1:交差点 2:エレベータ前 3:エレベータ箱中央 4:エスカレータ前 5:階段前 6:トイレ前 7:スロープ出入口 8:フロア間接続(空間を接続する物理的な境界(駅改札口、フロア出入口のドアなど)) 9:公的施設の出入口 10:商業施設出入口 11:その他	
	meishou	char	名称	改札名、エレベータ名等	
	lat	float	座標	緯度(世界測地系緯度経度)	
	lon	float	座標	経度(世界測地系緯度経度)	
	genten	int	原典	1:フロアマップ 2:設備・施設管理図 3:現地踏査	
	id	char	ID	論理場所情報コード	
オブジェクト ID	subid	char	ID 枝番	01、02・・・の 2 桁の数値	

--	--	--	--	--	--

### 8.2.2. ネットワークリンク

項目分類					
大分類	ネットワークデータ				
小分類	リンク				
データ名称	ネットワークリンク				
ファイル名	link.shp				
シェープタイプ	Polyline(線)				
定義	ノードを結ぶ線。経路を示す。				
取得基準	ネットワークノードを起点、終点として、実空間にあわせて、通路上から外れないように形状を取得する。原則としては、通路の中心線とする。				
主な原典資料	フロアマップ、設備・施設管理図、現地調査				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	shitennode	char	始点ノード ID	同上	
	shutennode	char	終点ノード ID	同上	
	linkushu	int	リンクの種類	0:通常通路 7:動く歩道 10:エレベータ 11:エスカレータ 12:階段 13:スロープ 99:不明	
	houkousei	int	方向性	0:両方向 1:起点より終点方向 2:終点より起点方向 9:不明	
	dansa	int	段差	0:2cm 未満 1:2～5cm 2:5～10cm 3:10cm 以上 9:不明(未調査)	
	yane	int	屋根の有無	0:なし 1:あり 9:不明(未調査)	

	genten	int	原典	1:フロアマップ 2:設備・施設管理図 3:現地踏査	
	kaisou	float	階層数値	地下 1 階は-1 中二階は 1.5	
オブジェクト ID	id	char	ID	論理場所情報コード	
	subid	char	ID 枝番	01、02・・・の 2 桁の数値	

### 8.3. POI データ

#### 8.3.1. 設備 POI

項目分類					
大分類	POI データ				
小分類	設備 POI				
データ名称	設備 POI				
ファイル名	Facility.shp				
シェープタイプ	point(点)				
定義	トイレ、ATM、インフォメーション、ランドマーク、ポスト、公衆電話、Wi-Fi、タクシー乗り場、喫煙所、搭乗ゲートなど、人が移動をする時の目印となる設備を点データとして取得する。なお、占有者 PO は、その空間を占有する人や法人が存在するため、“住所(Address)”を持つが、一般的に設備 POI には、“住所”がない。				
取得基準	原典資料に基づき、設備の概ね中心か、代表的な1点を取得する。				
主な原典資料	設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、フロアマップ				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	“設備 POI”の固有 ID	UUID	
	category	text	該当する“設備 POI”カテゴリーのコード	別表 8.3.1.設備 POI のカテゴリー参照	
	floor_name	text	“設備 POI”が紐付けられている“階層”の“階層名”		
	name	text	設備 POI の名称		
参照情報	ucode	text	論理場所情報コード		

#### 8.3.2. 占有者 POI

項目分類	
大分類	POI データ

小分類	占有者 POI				
データ名称	占有者 POI				
ファイル名	Occupants.shp				
シェープタイプ	point(点)				
定義	“物理的な空間”を占有している店舗や事務所など情報を点データで示したもの。				
取得基準	“物理的な空間”の概ね中心か、代表的な1点を点データで取得する。				
主な原典資料	設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、フロアマップ				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	“占有者 POI”の固有 ID	UUID	
	postalcode	text	郵便番号	151-0053	
	country	text	国	日本	
	province	text	都道府県	東京都	
	city	text	市区町村	渋谷区	
	address1	text	住所 1	00-00-00	
	address2	text	住所 2	新宿〇〇タワー0F	
	address3	text	住所 3		
	category	text	該当する“占有者 POI”カテゴリーのコード	別表 8.3.2.占有者 POI のカテゴリー参照	
	level_name	text	“占有者 POI”が紐付けられている“階層”の“階層名”		
	link_id	text	別の階層にある同じ占有者 POI とリンク		同じ建物内で複数階層を同じ事務所や店舗が占有している場合に利用
	hours	text	占有者 POI の営業時間	09:00-18:00	
	name	text	店舗や事務所の名称	〇〇〇株式会社	
	phone	text	店舗や事務所の電話番号		
suite	text	店舗や事務所の地図表示用注記ラベル			
taxonomy	text	“占有者 POI”の分類			
webdite	text	店舗や事務所のウェブサイト			
参照情報	ucode	text	論理場所情報コード		



## 8. 4. アンカーポイントデータ

### 8. 4. 1. 建物間接続点

項目分類					
大分類	アンカーポイントデータ				
小分類	建物間接続点				
データ名称	建物間接続点				
ファイル名	Build_Connect.shp				
シェープタイプ	Point(点)				
定義	異なる2つ以上の建物が隣接しており、通路などで人の通行が可能な場合、その建物の境界線上(建物の管理境界線上)に、他の建物への移動が可能な事を示すアンカーポイント“建物間接続点”を点データとして取得する。				
取得基準	2つ以上の隣接する建物があり、各建物が“物理的な空間”の階段、スロープ、通路/コンコースなど人の通行が可能な空間で接続している場合に、その境界線(管理境界線)上の概ね中心地点に点を取得する。				
主な原典資料	設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、フロアマップ				
補足事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続する建物に存在する“建物間接続点”がデータとして未整備の場合、“anch_id_1”、“anch_id_2”、“anch_id_3”は空欄とする。</li> <li>・“bldg_name”、“anch_id_”は、必要に応じて追加することが可能。追加する場合には、Field名の末尾の数字を“4”、“5”、“6”と上げて行く。</li> <li>・“bldg_name”、“anch_id_”の固有IDを記述する順番は任意。</li> </ul>				
属性情報					
区分	Field名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	“建物間接続点”の固有ID	UUID	
	bldg_name1	text	1つ目の接続する“建物駆体”の“名前”		
	anch_id_1	text	1つ目の接続する“建物間接続点”の固有ID	UUID	
	bldg_name2	text	2つ目の接続する“建物駆体”の“名前”		
	anch_id_2	text	2つ目の接続する“建物間接続点”の固有ID	UUID	
	bldg_name3	text	3つ目の接続する“建物駆体”の“名前”		
	anch_id_3	text	3つ目の接続する“建物間接続点”の固有ID	UUID	
参照情報	ucode	text	論理場所情報コード		

## 8.4.2. 階層間接続点

項目分類					
大分類	アンカーポイントデータ				
小分類	階層間接続点				
データ名称	アンカーポイント				
ファイル名	Floor_Connect.shp				
シェープタイプ	Point(点)				
定義	同一建物内で、上階と下階とが、階段、エスカレータ、エレベータ、スロープなどで接続され、移動が可能な事を示すアンカーポイント“階層間接続点”を点データとして取得する。				
取得基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“物理的な空間”の階段の範囲の“出入口”のライン上の概ね中心に取得する。</li> <li>・“物理的な空間”のエスカレータの範囲の“出入口”のライン上の概ね中心に取得する。</li> <li>・“物理的な空間”のエレベータの範囲の“出入口”のライン上の概ね中心に取得する。</li> <li>・“物理的な空間”のスロープの範囲の“出入口”のライン上の概ね中心に取得する。</li> </ul>				
主な原典資料	設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、フロアマップ				
補足事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的には、上階と下階の階層序数は、連続する整数であるが、連続しない場合もある。</li> <li>・“anch_id_”と“direction”は、必要に応じて追加することが可能。追加する場合には、Field 名の末尾の数字を“3”、“4”、“5”・・・と上げていく。</li> <li>・進行方向は、1: 上ってゆく、2: 下ってゆく、3: 上ってくる、4: 下ってくる、5: 不明をコード値(1~5)で入力するが、1→2→3→4→5 の優先順とする。</li> <li>・同一階層内における、階段、エスカレータ、エレベータ、スロープでも設定可能とする。</li> </ul>				
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	“階層間接続点”の固有 ID	UUID	
	anch_id_1	text	1 つ目の接続する“階層間接続点”の固有 ID	UUID	
	direction1	text	“階層間接続点”を始点とした時の、1 つ目の接続する“階層間接続点”への進行方向	1: 上ってゆく 2: 下ってゆく 3: 上ってくる 4: 下ってくる 5: 不明	
	anch_id_2	text	2 つ目の接続する“階層間接続点”の固有 ID	UUID	
	direction2	text	“階層間接続点”を始点とした時の、2 つ目の接続する“階層間接続点”への進行方向	1: 上ってゆく 2: 下ってゆく 3: 上ってくる 4: 下ってくる 5: 不明	
	ucode	text	論理場所情報コード		



## 9. その他のデータ

シェープファイル以外のデータの仕様は以下の通りである。

### 9.1. メタデータファイル

メタデータは、ファイル名を「meta」とし、以下の内容を記述する。プロジェクト単位で作成する。ファイル形式は、XML形式とする。なお、XMLの定義ファイル（拡張子.xsd）の作成は必須としない。

<xsd:element ref="abstract"/>	<!-- データ要約 -->
<xsd:element ref="author"/>	<!-- データ管理者 -->
<xsd:element ref="project"/>	<!-- プロジェクト -->
<xsd:element ref="facility"/>	<!-- 施設 -->
<xsd:element ref="createdate"/>	<!-- データ作成年月日 -->
<xsd:element ref="source"/>	<!-- 原典資料情報 -->
<xsd:element ref="editmethod"/>	<!-- 加工編集方法 -->
<xsd:element ref="survey"/>	<!-- 現地調査 -->

サンプルを以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<attribute>
  <abstract>階層別屋内地理空間情報データ試作</abstract>
  <author>〇〇株式会社</author>
  <project>3次元地図の整備・更新に関する調査(地理院庁舎、東京駅、新丸ビル、丸ビル、オアゾ)</project>
  <facility>東京駅</facility>
  <createdate>2016/3/18</createdate>
  <source>施設平面図</source>
  <editmethod>GIS</editmethod>
  <survey>無</survey>
</attribute>
```

### 9.2. 施設管理ファイル

プロジェクト内に含まれる各施設の施設名、シェープファイルのファイル名に記述された施設名、施設を代表する地点の高さ、代表点の緯度、代表点の経度を記述する。ファイル名は、「FacilityMaster」とする。プロジェクト単位で作成する。ファイル形式は、CSV形式とする。ヘッダには、以下の項目を記述する。

No.	項目	説明
1	施設番号	プロジェクト内で施設ごとに付される一意の通し番号。

2	施設名	プロジェクト内で施設ごとに付される一意の施設名称。 施設管理者の命名に従う。
3	ファイル名	シェープファイル「施設名_階層_データ名称」の「施設名」に該当する名称。
4	代表点高	各施設の任意の代表点の地盤高(単位:m)。 原典資料に情報がある場合はその値を用いる。 原典資料に情報が無い場合は、測量により求める。あるいは、地理院地図 ( <a href="http://maps.gsi.go.jp/">http://maps.gsi.go.jp/</a> )等から施設の代表点(施設の概ね重心)の標高値を読み取る。
5	代表点緯度	代表点高を求めた地点の緯度。度単位 10 進数で記述する。
6	代表点経度	代表点高を求めた地点の経度。度単位 10 進数で記述する。

### 9.3. フロア管理ファイル

施設内に含まれる各フロアの階層名、階層数値、高さを記述する。ファイル名は、「FloorMaster」とする。プロジェクト単位で作成する。ファイル形式は、CSV 形式とする。ヘッダには、以下の項目を記述する。

No.	項目	説明
1	番号	プロジェクト内で各施設の各フロアに付される一意の通し番号。
2	階層名	各施設の階層の名称(例 1 階、中二階、2 階、地下一階、地下 2 階、等)。 施設管理者の設定に従う。
3	階層数値	シェープファイルの属性データに記述されている階層数値(シェープファイルの Field 名「kaisou」に記述された階層の数値)。
4	フロア高	各フロアの代表地点における当該フロアの高さ(単位:m)。 原典資料に情報がある場合はその値を用いる。 原典資料に情報が無い場合は、測量等による現地での確認により求める。また、現地での確認が出来ない場合には、事務所、百貨店の一般的な階高を記述する。

### 9.4. 位置参照点

原典資料からシェープファイルを作成するにあたり位置の標定に用いた国土地理院の「基盤地図情報」の参照点の座標値 (Y 座標、X 座標) と、標定後の座標値 (Y 座標、X 座標) を記述する。ファイル名は、「ReferencePoint」とする。プロジェクト単位で作成する。ファイル形式は、CSV 形式とする。ヘッダには、以下の項目を記述する。

No.	項目	説明
1	施設番号	プロジェクト内で各施設の各フロアに付される一意の通し番号。

2	地点 ID	各施設の位置の標定に用いた地点の ID で、各施設内で一意の ID とする。 ID は任意に設定が可能。
3	系番号	Y 座標 1、X 座標 1、Y 座標 2、X 座標 2 の系番号
4	Y 座標 1	位置の標定に用いた基盤地図情報における座標値(平面直角座標系)の Y 座標
5	X 座標 1	位置の標定に用いた基盤地図情報における座標値(平面直角座標系)の X 座標
6	Y 座標 2	標定後の座標値(平面直角座標系)の Y 座標
7	X 座標 2	標定後の座標値(平面直角座標系)の X 座標

### 9.5. 言語依存データ

言語依存データには、日本語とそれに対応する他言語を記述する。ファイル名を「MultiLanguage」とし、プロジェクト単位で作成する。ファイル形式は CSV 形式とする。

対象とする言語は、日本語 (jp)、英語 (en)、韓国語 (ko)、中国語 (簡体字) (zh-ch)、中国語 (繁体字) (zh-tw)、フランス語 (fr)、スペイン語 (es) とし、ヘッダに記述する。なお、翻訳不能なものについては記載しない。サンプルを以下に示す。

jp,en,ko,zh-ch,zh-tw,fr,es

共用会議室,공용 회의실,共享会议室,共享會議室,salle de réunion commune,sala de reuniones compartida

厚生課物品倉庫,.....

端末機室,terminal room,단말기 실,终端室,終端室,salle des terminaux,sala de terminal

SE 室,SE room,SE 실,SE 房,SE 房,chambre SE,sala de SE

電子計算機室,computer room,전자 계산기 실,tietokone huoneessa,電腦室,salle informatique,sala de ordenadores

女子更衣室,.....

湯沸室,.....

空調機械室,.....

組合事務室,.....

情報システム課,information system division,정보 시스템과,信息系統課,信息系統課,division système d'information,División de Sistemas de Información

喫煙室,smoking room,흡연실,吸烟室,吸煙室,espace fumeurs,salón de fumar

会計課,accounts division,회계과,账户課,賬戶課,division contabilidad,División de cuentas

以上

【別表】地物データ、POI データのカテゴリー一覧

別表 8.1.1.施設の 카테고리

コード	日本語名称	英語名称	備考
A001	駅	Transit Station	
A002	空港	Airport	
A003	競技場	Stadium	
A004	地下道/地下街	Underpass / Underground Shopping Area	
A005	コンベンションセンター	Convention Center	
A006	官公署	Government Facility	
A007	保健所	Healthcare Facility	
A008	コミュニティセンター	Community Center	
A009	ホテル	Hotel	
A010	駐車場	Parking Facility	
A011	大学	University	
A012	劇場	Theater	
A013	水族館	Aquarium	
A014	美術館	Museum	
A015	商業施設	Retail Store	
A016	ショッピングセンター	Shopping Center	
A017	行楽地	Resort	
A018	テーマパーク	Theme Park	
A019	カジノ	Casino	
A020	企業私有地	Business Campus	
A021	不明/その他	Unknown	

別表 8.1.4.物理的な空間のカテゴリー

コード	日本語名称	英語名称	定義/取得基準
B001	商業施設	Retail Store	商業施設として利用されている部屋の範囲を面として設定したもの
B002	事務所	Office	事務室として利用されている部屋の範囲を面として設定したもの
B003	公的施設	Public Facility	公的施設として利用されている部屋の範囲を面として設定したもの
B004	待合室・休憩所	Waiting Room	待合所・休憩所として利用されている部屋の範囲を面として設定したもの
B005	きっぷ売り場	Tickets	きっぷ売り場として利用されている部屋の範囲を面として設定したもの

B006	受付・案内	Information	受付・案内所として利用されている部屋の範囲を面として設定したもの
B007	トイレ(男性用)	Lavatory (Male)	トイレ(男性用)として利用されている部屋の範囲を面として設定したもの
B008	トイレ(女性用)	Lavatory (Female)	トイレ(女性用)として利用されている部屋の範囲を面として設定したもの
B009	トイレ(多目的)	Lavatory (Multipurpose)	トイレ(多目的)として利用されている部屋の範囲を面として設定したもの
B010	トイレ(男女共用)	Lavatory (Unisex)	トイレ(男女共用)として利用されている部屋の範囲を面として設定したもの
B011	トイレ(男女不明)	Lavatory (Unspecified)	トイレ(男女不明)として利用されている部屋の範囲を面として設定したもの
B012	喫煙場所	Smoking Area	喫煙場所として利用されている部屋の範囲を面として設定したもの
B013	授乳室	Baby-feeding Room	授乳室として利用されている部屋の範囲を面として設定したもの
B014	病院・救護室	First Aid	病院・救護室など医療関係の施設として利用されている部屋の範囲を面として設定したもの
B015	駅事務室	Station Office	駅事務室として利用されている部屋の範囲を面として設定したもの
B016	その他部屋の範囲	Other Room	上記部屋として分類不能な部屋の範囲を面として設定したもの
B017	吹抜の範囲	Open to Below	人の通行が不能な吹き抜けの範囲を面として設定したもの
B018	階段の範囲	Stairs	踊り場を含む階段の範囲を面として設定したもの
B019	エレベータの範囲	Elevator	エレベータの範囲を面として設定したもの
B020	エスカレータの範囲	Escalator	踊り場を含むエスカレータの範囲を面として設定したもの
B021	動く歩道の範囲	Moving Walkway	動く歩道の範囲を面として設定したもの
B022	スロープの範囲	Slope	スロープの範囲を面として設定したもの
B023	非公開	Non-Public	施設管理者により非公開と指定された空間(部屋)の範囲を面として設定したもの
B024	駐車場	Parking	駐車場として利用されている空間(部屋)の範囲を面として設定したもの
B025	プラットホーム	Platform	プラットホームの範囲を、面として設定したもの



B026	通路/コンコース	Walkway	通路/コンコースとして利用されている空間(部屋)の範囲を面として設定したもの
B027	ペDESTリアンデッキ	Pedestriandeck	ペDESTリアンデッキ(建物と接続して建設された歩行者の通行専用の高架建築物)の範囲を面として設定したもの
B028	歩道橋	Pedestrian Overpass	歩道橋の範囲を面として設定したもの
B029	屋外	Outside	建物の外の地表面の範囲を、面として設定したもの

別表 8.1.5.固定設置物のカテゴリー

コード	日本語名称	英語名称	定義/取得基準
C001	柱	Column	部屋の範囲に含まれない、“物理的な空間”に存在する人の通行が不能な柱の範囲(形状)を面として設定したもの
C002	家具	Furniture	“物理的な空間”の中に含まれる固定されている家具(カウンター、棚など)の形状を面として設定したもの
C003	什器	Furniture(Cubicle)	“物理的な空間”の中に含まれる固定されていない可動式の什器の形状を面として設定したもの
C004	小形簡易売店	Kiosk	“物理的な空間”の中に存在している小型の売店(キオスク)の形状を面として設定したもの
C005	障害物	Obstruction	“物理的な空間”の中に存在していて、人の通行の障害となるインテリア、装飾、オブジェなどの形状を面として設定したもの
C006	植栽・花壇	Vegetation	“物理的な空間”の中に存在している植栽や花壇などの形状を面として設定したもの
C007	間仕切壁	Wall	“物理的な空間”の中に存在しているパーティションなどの間仕切り壁の形状を面として設定したもの
C008	水部等	Water	“物理的な空間”の中に存在していて、人の通行の障害となる噴水や水面などの形状を面として設定したもの
C009	ロッカー	Locker Cabinet	“物理的な空間”の中に存在しているコインロッカーの形状を面として設定したもの
C010	自動販売機	Vending Machine	“物理的な空間”の中に存在している自動販売機の形状を面として設定したもの

C011	ATM	ATM	“物理的な空間”の中に存在している ATM の形状を面として設定したもの
C012	ステージ	Stage Platform	“物理的な空間”の中に存在していて、人の通行の障害となるステージの形状を面として設定したもの
C013	その他	Uncategorized	“物理的な空間”の中に存在していて、上記に分類不能なものの形状を面として設定したもの

別表 8.3.1.設備 POI のカテゴリ

No.	日本語名称	英語名称	定義／取得基準
F001	トイレ(男性)	Lavatory(Male)	男性用トイレ部屋の代表点を点として設定したもの
F002	トイレ(女性)	Lavatory(Female)	女性用トイレ部屋の代表点を点として設定したもの
F003	トイレ(男女共用)	Lavatory (Unisex)	男女共用トイレ部屋の代表点を点として設定したもの
F004	多目的トイレ	Lavatory (Multipurpose)	多目的トイレ部屋の代表点を点として設定したもの
F005	トイレ(男女不明)	Lavatory (Unspecified)	(男性用/女性用が不明な)トイレ部屋の代表点を点として設定したもの
F006	階段	Stairs	階段部屋/階段の範囲の代表点を点として設定したもの
F007	エレベータ	Elevator	エレベータの範囲の代表点を点として設定したもの
F008	エスカレータ	Escalator	エスカレータ部屋の代表点を点として設定したもの
F009	スロープ	Slope	スロープの範囲の代表点を点として設定したもの
F010	動く歩道	Moving Walkway	動く歩道の範囲の代表点を点として設定したもの
F011	施設代表点	Site	施設の代表点を点として設定したもの
F012	施設出入口	Entrance	施設・建物の出入口の代表点を点として設定したもの
F013	受付・案内所	Information	施設案内所、インフォメーションセンターなど、有人の案内所を点として設定したもの
F014	交番	Policebox	交番の代表点を点として設定したもの

F015	待合室	Waiting Room	待合室の代表点を点として設定したもの
F016	授乳室	Nursing Room	授乳室の代表点を点として設定したもの
F017	医療施設	Medical	医療施設の代表点を点として設定したもの
F018	見学・展望施設	Observation	見学・展望施設の代表点を点として設定したもの
F019	喫煙エリア	Smoking Area	喫煙エリア、喫煙室の代表点を点として設定したもの
F020	店舗	Store	飲食店、衣料品店、靴店、サービス業等の各種商店を点として設定したもの(施設内に進入可能なもの)
F021	飲食コーナー	Eating/Drinking	飲食が可能なコーナーの代表点を点として設定したもの
F022	AED	AED	AED 機器の設置位置を点として設定したもの
F023	公衆電話	Pay Phone	公衆電話の設置位置を点として設定したもの
F024	郵便ポスト	Post	郵便ポストの設置位置を点として設定したもの
F025	ATM	ATM	クレジット専用端末を除く、銀行、郵便局等の ATM 設置位置を点として設定したもの
F026	コインロッカー	Coin Lockers	コインロッカーを点として設定したもの
F027	自動販売機	Vending Machine	自動販売機の位置を点として設定したもの
F028	車いす支援設備	Wheelchair Assist	車椅子用エレベータなど車椅子の支援設備の位置
F029	充電ステーション	Power/Charging	公衆の充電ステーションの位置を点として設定したもの
F030	案内サイン／案内板	Guide Sign	案内サイン、駅周辺案内図、施設案内図、触知図案内板、音声案内板などの案内板を、点として設定したもの(広告のみのサイネージは除く)
F031	バス停留所	Busstop	バス停留所の位置を点として設定したもの
F032	タクシー乗り場	Taxistop	タクシー乗り場の位置を点として設定したもの
F033	駐輪場	Bicycle Parking Lot	駐輪場エリアの代表点を点として設定したもの
F034	駐車場	Parking	駐車場エリアの代表点を点として設定したもの
F035	地図表記用注記	Notes for Map Representation	広場(有楽町駅前地下広場 A、動輪の広場)、通路(行幸ギャラリー)などの名称を地図注記として表現する位置を点

F036	ランドマーク	Landmark	移動や待ち合わせの目印となりうる彫像、模型、現代アート作品などの造形物を点として設定したもの
F037	展示物	Exhibit	(博物館・美術館などにおける)展示品の位置を点として設定したもの
F038	公衆無線LAN	Public Wi-Fi	公衆無線 LAN スポット(Wi-Fi アクセスポイント)の位置を点として設定したもの
F039	パブリックタグ	Public Tag	パブリックタグの位置を点として設定したもの
F040	消火器	Fire Extinguisher	消火器の位置を点として設定したもの
F041	消火栓	Fire Hydrant	消火栓の位置を点として設定したもの
F042	火災報知器	Fire Alarm	火災報知器の位置を点として設定したもの
F043	非常誘導灯	Emergency Guide Light	非常誘導灯の位置を点として設定したもの
F044	音声案内装置	Voice Guide Device	音声案内装置の位置を点として設定したもの
	【駅】に特有の POI		
F101	きっぷ売り場	Ticket Office	券売機、みどりの窓口等、鉄道をはじめとする公共交通機関のきっぷ及び入場券売り場を点として設定したもの
F102	定期券売り場	Commuter Ticket Office	公共交通機関の定期券売り場(有人)を点として設定したもの
F103	精算所	Fare Adjustment	チケット精算所(無人精算機を含む)を点として設定したもの
F104	駅事務室	Station Staffroom	駅事務室の部屋の代表点を点として設定したもの
F105	忘れもの預かり所	Lost and Found	施設の忘れ物預り所の部屋の代表点を点として設定したもの
F106	改札口	Ticketgate	鉄道駅で改札を行う場所を点として設定したもの
F107	売店/キオスク	KIOSK	公共的な通路にあるカウンター越しに商品の購入を行う商店を、点として設定したもの。(部屋の区分けが不明瞭なもの) 例:キオスク、メロピア、メルシー等
F108	地下鉄出口	Exit	地下鉄の出口を点として設定したもの
F109	インターホン	Interphone	駅/地下鉄の改札や入口に設置されているインターホンの設置位置を点として設定したもの
	【空港】に特有の POI		

F201	保安検査場	Inspection Station	保安検査場の位置を点として設定したもの
F202	チェックインカウンター (有人)	Check-in	有人のチェックインカウンターの位置を点として設定したもの
F203	自動チェックイン機(無人)	Automatic check-in machine	無人の自動チェックイン機の位置を点として設定したもの
F204	手荷物検査場	Security Checkpoint	手荷物検査場の位置を点として設定したもの
F205	到着口	Arrival Gate	到着口の位置を点として設定したもの
F206	搭乗口	Boarding Gate	搭乗口の位置を点として設定したもの
F207	検疫所	Quarantine Station	検疫所の位置を点として設定したもの
F208	税関	Customs	税関の位置を点として設定したもの
F209	SIM 自販機	SIM Vending Machine	SIM の自動販売機の位置を点として設定したもの
F210	Wi-Fi レンタルサービス	Wi-Fi Rental Service	Wi-Fi のレンタルサービスを行っている店舗等の位置を点として設定したもの
F211	携帯電話レンタルサービス	Mobile Phone Rental Service	携帯電話のレンタルサービスを行っている店舗等の位置を点として設定したもの
F212	ラウンジ	Private Lounge	空港のプライベートラウンジの部屋の代表点を点として設定したもの
F213	マッサージチェア	Massage Chair	マッサージチェアが設置されている位置を点として設定したもの
F214	両替所	Currency Exchange	両替所の位置を点として設定したもの
F215	手荷物受取	Baggage Claim	手荷物受取場所を点として設定したもの
F216	手荷物カート置き場	Baggage Carts	手荷物カート置き場の位置を点として設定したもの
F217	手荷物サービス	Baggage Service	手荷物サービスの位置を点として設定したもの
F218	子供遊び場	Children's Play Area	子供の遊び場の代表点を点として設定したもの
F219	盲導犬・介助犬許可エリア	Animal Relief Area	盲導犬・介助犬・聴導犬が利用可能な設備の位置を点として設定したもの
F220	免税店	Duty Free	免税手続きを行うカウンターの位置を点として設定したもの
F221	入国審査	Immigration	入国審査を行っているの位置点として設定したもの

別表 8.3.2.占有者 POI のカテゴリー

コード	カテゴリー種別名称(日本語)	カテゴリー種別名称(英語)	備考
P001	アクセサリ店	Accessories	

P002	家電製品店	Appliances	
P003	アートギャラリー	Art Galleries	
P004	芸術・エンターテインメント	Arts & Entertainment	
P005	自動車用品店	Auto Parts & Supplies	
P006	自動車販売店	Automotive	
P007	銀行・信用組合	Banks & Credit Unions	
P008	理髪店	Barber Shop	
P009	美容・スパ	Beauty & Spas	
P010	ビール・ワイン・酒	Beer,Wine & Spirits	
P011	書籍・雑誌・音楽・ビデオ	Books,Mags, Music & Video	
P012	カフェ	Cafes	
P013	レンタカー	Car Rental	
P014	文房具店	Cards & Stationery	
P015	子供衣料品店	Children's Clothing	
P016	映画館	Cinema	
P017	喫茶店	Coffee & Tea	
P018	コンビニエンスストア	Convenience Store	
P019	化粧品・美容雑貨店	Cosmetics & Beauty Supply	
P020	デパート	Department Stores	
P021	クリーニング店	Dry Cleaning & Laundry	
P022	教育機関	Education	
P023	眼鏡店	Eyewear & Opticians	
P024	ファッション店	Fashion	
P025	金融機関	Financial Services	
P026	花屋	Florists	
P027	家具店	Furniture Stores	
P028	食料品・雑貨店	Grocery	
P029	美容院/美容室	Hairdresser	
P030	健康・医療	Health & Medical	
P031	ホビーショップ	Hobby Shops	
P032	ホームセンター	Home & Garden	
P033	ホテル/宿泊施設	Hotels	
P034	宝飾店	Jewelry	
P035	ランドマーク・歴史的建造物	Landmarks & Historical Buildings	
P036	図書館	Libraries	
P037	衣料小物	Lingerie	
P038	地域のサービス情報	Local Services	

P039	手荷物預かり所	Luggage	
P040	医療施設	Medical Facilities	
P041	紳士服店	Men's Clothing	
P042	園芸店	Nurseries & Gardning	
P043	オペラ・バレエ	Opera & Ballet	
P044	舞台芸術	Performing Arts	
P045	ペットショップ	Pet Stores	
P046	薬局	Pharmacy	
P047	写真店	Photography Stores & Services	
P048	交番	Police Box	
P049	郵便局	Post Offices	
P050	専門業者	Professional Services	
P051	資産/施設管理	Property Management	
P052	公共サービス・行政	Public Services & Government	
P053	不動産仲介人	Real Estate Agents	
P054	不動産業者	Real Estate Services	
P055	レストラン	Restaurants	
P056	衣服リフォーム店	Sewing & Alterations	
P057	靴店	Shoe Stores	
P058	店舗	Shop	
P059	ショッピング施設	Shopping	
P060	土産物屋	Souvenir Shop	
P061	特産食品店	Specialty Food	
P062	スポーツ用品店	Sporting Goods	
P063	観光案内所	Tourist Information Office	
P064	玩具店	Toy Stores	
P065	旅行営業所	Travel Services	
P066	獣医師	Veterinarians	
P067	時計店	Watches	
P068	婦人服店	Women's Clothing	
P069	分類不可	Other	上記カテゴリーでの分類が不能なもの